

『総会特集号』

岡山フルートの会総会について

5月13日(日)に長谷川楽器店3階ホールにおいて総会が開催されました。10時半から始まった総会は、約2時間に渡って、前年度の事業報告、会計報告、さらに新年度の事業計画、予算案をめぐって活発な議論、質疑が交わされた後、新しい年度の方針が決定されました。詳細は同封いたしました各資料を是非お読みください。今年もさまざまな行事が予定されています。楽しいまた有意義な一年にしましょう！

会長挨拶と新設の特別会員について

岡山フルートの会会長 岩崎範夫

会員の皆様、第28回岡山フルートの会演奏会に多数参加していただき誠にありがとうございました。実行委員の方々、当日の手伝いをしてくださった方々、遠方より演奏にご協力いただいた方々、楽器メーカー各社の方々、長谷川楽器等々に対して、心より感謝申し上げます。次回の演奏会、第30回の記念演奏会をより感動的な楽しいものにするために、皆様の御協力を賜り準備を進めていきたいと思っております。

先日、5月13日に岡山フルートの会2007年度総会がありました。参加者は余り多くはなかったですが、会の活動の重要な役割である役員改選もあり、新たなメンバーが承認されました。前回の役員の方々、大変御苦勞様でした。総会不参加の返信はがきにも、役員の方々に対する感謝の言葉が多数ありました。今年度の総会で新たに承認された特別会員について、説明と紹介をしたいと思います。特別会員は、岡山フルートの会に甚大なる援助、協力をされた功勞者、並びに、会の出身者でありプロの音楽界で活躍され、会の演奏会にも協力して下さる方になっていただくように考えています。このような意味で今回特別会員として承認された方々は、青木 健(日本フルート協会事務局長)、小池郁江(東京都交響楽団フルート奏者)柴田 勲(日本フィルハーモニー交響楽団フルート奏者)、曾根 勝(ムラマツフルート役員)、田中修一(アルタスフルート社長)、谷元紀(フルートパーク・タニテック社長)、難波裕之(ムラマツフルート役員)、平田靖昭(元岡山吹奏楽連盟会長)、森 圭吾(札幌交響楽団主席フルート奏者)、鷲尾真奈(ポストン在住、ニューイングランドフィルハーモニー交響楽団フルート奏者)の諸氏です。顧問の星島明郎先生と特別会員の方々には、更なるご協力をお願いしたいと考えています。

これから梅雨の時期になるのですが、皆様、気持ちは晴れ晴れと元気にフルートを吹きましょ。

演奏会のご案内

ギターのタベ フラメンコとクラシックのジョイントコンサート 主催:L.A.G.O(岡山県ギター愛奏会)

古賀久枝(フルト) ダミアン・クウェチェック(クラシックギター) 吉岡慶博(フラメンコギター)

会場:天神文化プラザホール

月 日:2007年7月4日(水) 午後7:00(開演) 午後6:30(開場)

入 場 料:一般前売り2,500円(当日2,800円) 学生(大学生まで)当日のみ1,500円(全席自由)

曲 目:コンドルは飛んでゆく プエノスアイレスの夏 グリンスリ ブス他

お問合せ:090-7573-8910 古賀さん

第 10 回岡山学生フルート・コンクール実行委員募集！

9 月 23 日(日・祝)に開催される第 10 回岡山学生フルート・コンクールの実行委員会を、下記のように開きます。実行委員を希望される方は安達さんまでご連絡ください。

6 月 12 日(火)19:30～ 長谷川楽器店 3 階ホール

安達さん:090-8993-8543 E-mail:flutekid555@hotmail.com

会費の納入について

会費の納入につきましては、総会でも質疑がありました。会の運営の基本となる事項ですので、どうか会費の確実な納入に皆様のご理解とご協力をお願いいたします。同封の振込用紙で、8 月末までに納入してください。会費に関する問い合わせは山本恵理さんまでお願いします。なお、振込用紙を紛失した場合は郵便局で下記の口座に振り込んでください。

振込先:岡山フルートの会 口座番号:01210-1-16893

山本恵理さん(会計係)電話&FAX:086-228-1500 携帯:090-1684-3149

HP(ホームページ)係よりお知らせ

岡山フルートの会のホームページに、会員ならどなたでも参加できる掲示板を設置しました。ふれあいの場として、また、情報交換や各種のお知らせなどにお使いください。いつ書き込んでくださっても結構ですし、内容もご自由にどうぞ(写真などもアップできますよ)。パソコンだけでなく携帯からもアクセスできますので、外出先でも書き込めます。なお、会員以外の方には閲覧できないように、簡単なパスワードを設定しています。アドレスとパスワードは下記をご覧ください。どうか、皆さんで盛り上げてください！

アドレス <http://www.okayama-flute.net/cbbs/cbbs.cgi>

パスワード bach (小文字で 4 文字)

お久しぶり！「やましんさんコーナー」

シベリウス・グリーグ・イヤーについて その他

今年は、フィンランドの作曲家シベリウスの没後 50 年、またノルウェイの作曲家グリーグの没後 100 年にあたります。シベリウスは 20 世紀においては生きていた年代に合わない保守的な作曲家として、特に専門家筋から批判的に見られる傾向もありましたが、これからはむしろ新世紀を切り開く作曲家として(ちょっとひいき)再評価されることは確実です。一方グリーグは、大方から愛され続けてきましたが、一部の有名曲以外に膨大なピアノ曲、歌曲や合唱曲などまだまだ宝物がたくさんあります。シベリウスの「クレルヴォ」以前の若い時代の作品は、本人の意思もあってこれまであまり表に出てきませんでした。最近研究が進み、録音もどんどん行われています。一方晩年の謎とされてきた交響曲第 8 番についても残された多くの楽譜など資料の中から関連のものが出てきているようですので、何か新しい報告もあるかもしれないと愛好家は期待しています。ということで今年はシベリウス関連の演奏会や研究報告、CD の発売など、行事がいろいろ計画されていますので今年だけは生きていなくちゃと思っています。シベリウスやグリーグとはまったく関係ありませんが、ここ 2 年間ほど私は H.I.F.ピーバーの「ロザリオのソナタ」に夢中になっていました。17 世紀に作られたこの異色の大作はなんと美しい音楽でしょう。ピーバーというと、戦争を描写音楽にしてみたり、巨大な宗教音楽を書いたり、かなり危なくへビーな(古いか)イメージでしたが、ここにあるのはとてつもなく美しい純粋な信仰とでもいうのか、まことにすばらしい世界です。是非聞いてみてください。ただし 2 時間かかります。

【会報の封筒詰めのお知らせ】

7 月号の会報の封筒詰めを、7 月 3 日(火)午後 7 時から長谷川楽器店 3 階ホールで行います。

会員の皆さまには、是非、封筒詰めのお手伝いをお願いします。